

平成 30 年度 入学式「式辞」(平成 30 年 4 月 9 日)

校長 内 木 晃

〇はじめに

例年にない早い春の訪れで、校庭の樹木も新しい芽を吹き、若さあふれる陽春の季節となりました。本日この良き日に、本校 P T A 会長 高木淳一 様をご来賓にお迎えし、多くの保護者の皆様とともに、平成 30 年度岐阜県立不破高等学校入学式を挙行できますことは、私ども教職員一同、大きな喜びでございます。心より厚く御礼申し上げます。

ただ今、入学を許可いたしました新入生の皆さん「入学おめでとう!」。不破高校は、皆さんを心から歓迎します。また、保護者の皆様には、大切に育ててこられたお子様が、本校に入学されましたことを心からお喜び申し上げます。

〇あなたの個性を可能性に! 昨日の自分に差をつけよう

さて、高校生としての第一歩を踏み出す、新入生の皆さんに、三つのお願いがあります。

一つ目は、本日の入学式の意義を、もう一度よく考えてほしい、ということです。入学式は門出を祝う儀式であると同時に、すべての生徒・保護者・教職員が一堂に会し、本校の教育に対する考え方を共有できる大切な機会であると思っています。新入生の皆さん、現在の気持ちはどうでしょうか。今、どのような思いを頭に浮かべていますか。新しい友だちに会える期待、高校生活に対する漠然とした不安、様々な思いが浮かんできていることと思います。

皆さんは、本校を志望校に選び、入学試験にいどみ、本日、晴れて本校の生徒となりました。中には「違う学校に行きたい」という思いがありながら本校に入学した人もいるかもしれません。でも、一人が通える学校は一つです。人生には、それぞれの節目で一つしか選べない選択というものがあります。何を選択したかによって歩む道が決まります。しかし、それだけで人生そのものが全て決まる訳ではありません。大切なのは、選択後に「何をしたか?、何ができたか!」ではないでしょうか。本校の先生方が皆さんをしっかりサポートしてくれます。皆さん一人ひとりの個性や思いを大切にしてい、皆さんの持っている可能性を最大限に引き出してくれます。過去を振り返らず、私たちと一緒に前に進んでいきましょう。昨日の自分に差をつけようではありませんか。

〇指示がなくても行動できる若者は頼もしい

さて、二つ目のお願いです。それは、新入生の皆さんには、高校三年間で、自主性を身に付けてほしいということです。自分の将来のことを自分で決めることができるようになってほしい、高校卒業時の選択は、自主性に基づいたものであってほしいと思っています。現代の子どもたちは、失敗させないようにと、先回りする大人たちの干渉によって、自分で危険を予見することができずに行動する人間が増えています。勉強はできても、指示がないと行動できない若者が増えています。

新入生の皆さん、まず手始めに、今日家に帰ったら、保護者の皆さんに、これまでの感謝の言葉と今後の決意を話してみてください。たとえば「卒業までの三年間、絶対に頑張るから見守っていてほしい!」と宣言するのはどうでしょうか。「学校に行くのが時々嫌になったりするかもしれないけれど、挫折しかけたら叱ってほしい」とお願いしてもいいのではないのでしょうか。保護者の皆さま、自主的に行動できる我が子を想像してみてください。きっと、頼もしく見えるはずですよ。

保護者の皆さまにお願いがございます。自主性を育むために学校では、これを授業、学校行事、部活動など、学校教育活動のあらゆる場面で、繰り返し指導します。時には、自主性を重視した学校のやり方が乱暴に見えることがあるかもしれませんが、どうか学校が行う自主性を育む教育をご理解のうえ、ご協力をお願いいたします。

○「自主性」と「自由」の違い ～ダメなものはダメ～

新入生の皆さんに、本日、最後のお願いです。自主性を逆手にとって、何でも自由でよいという考え方は間違いです。社会のルールなど、世の中には守らなければならないルールがあります。生徒の皆さん、学校のルールを守るようお願いいたします。学校は、ダメなものはダメという姿勢で指導に当たりますので、保護者の皆さまのご理解をお願いいたします。

○本気なれば自分が変わる、未来が変わる！ みんな、みんな、あなたを応援します。

ところで、私は30代のころ、この学校の教員として勤務しておりました。クラス担任を10回持ちましたが、新学期、学級通信の第一号には次のようなメッセージを載せていました。

「皆さん、ようこそ僕のクラスに！ 僕が皆さんの担任になったのは、これはもう運命です。まあ、期待外れだった人はあきらめてください。でも、僕は君たちに宣言します。一年後、この担任に出会えてよかったと、心から君たちに思ってもらえるようにベストを尽くします」と。時を経て、立場は今違いますが、私の思いは当時と変わりません。

○終わりに

保護者の皆さま、おあずかりいたしますお子さまの教育には、本校教職員一同、精一杯努力してまいります。私たち教職員は、ここ不破高校が新入生の皆さんにとって、心と体の居場所となることができるように、全力を注ぎますので、保護者の皆様におかれましても、学校への力強いご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

新入生の皆さんが、今日の日を忘れず、毎日元気に学校に通い、充実した高校生活が送れるよう祈念して、式辞といたします。

平成30年4月9日

岐阜県立不破高等学校長 内 木 晃